

日本で最初の藩校

旧岡山藩藩学



指定区分	国指定史跡
読みかた	きゅうおかやまはんはんがく
所在地	岡山市北区蕃山町
指定年月日	大正11年3月8日
解説	岡山藩主池田光政が藩士の子弟教育のために設けた学校跡。寛文9年(1669)に完成し、幕府が設けた江戸の「昌平坂学問所」に20年先行している。昭和20年の岡山空襲で全校舎焼失し、現在は、花崗岩製の石橋が掛かるハン池のみが残る。全国の藩学校で唯一の遺構。(※ハン=さんずいに半)
アクセス方法	JR岡山駅から約1.2km / 路面電車「柳川」から約300m / バス「柳川」から約200m
公開状況	開門:おおよそ9～17時 / 自由
設備	周辺有料駐車場を利用
備考	戦後の戦災復興事業で用地の南側と西側は市道や宅地になり、校門と講堂の土台は埋められて、現在は岡山市立中央中学校の運動場になっています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	旧岡山藩藩学
よみかた	きゅうおかやまはんはんがく
しょざいち (所在地)	岡山市北区蕃山町
していつひ (指定した日)	大正11年3月8日
せつめい	日本で最初(さいしょ)に学校をつくった岡山の殿様(との)さま、池田光政(いけだみつまさ)の命令(めいれい)で、役人(やくにん)の子どもの教育(きょういく)のためにつくられた学校の跡(あと)です。昭和20年の岡山空襲(くうしゅう)のために校舎(こうしゃ)は失(うしな)われてしまい、校舎(こうしゃ)の正面にあった池と石橋(いしばし)が残っています。